



突然襲う土砂災害

6月は土砂災害防止月間です みんなで防ごう土砂災害！

命と暮らしを脅かす土砂災害が、平成26年度全国で1184件、徳島県内では20件、三好市管内でも人的被害はなかったものの3件発生し、広島市での土砂災害など、局地的な豪雨により多数の死者を伴う甚大な被害も発生しました。市内にもそういった土砂災害の発生危険箇所数は2167箇所あり、十分な警戒が必要な状況です。

災害危険箇所」で発生しています。自分の家や近所が土砂災害危険箇所にあるかどうか確認しましょう。

土砂災害危険箇所は、三好市へお問い合わせいただくこと確認できますが、徳島県のホームページでも確認することができます。

また、局地的豪雨が増えたことなどにより、近年は土砂災害危険箇所以外でも土砂災害が発生しています。

土砂災害警戒情報などの気象情報に注意しましょう

雨が降り出したら、土砂災害警戒情報などの気象情報に注意しましょう。

土砂災害警戒情報は気象庁や徳島県のホームページで確認できます。土砂災害警戒情報が発表されていなくても、下記のような土砂災害の前兆現象を見つけたら、異変を感じ

たら、ただちに避難することにも、市や徳島県西部総合県民局に連絡してください。

危険を感じたら 早めに避難しましょう

土砂災害は突発的に発生するのが特徴です。土砂災害警戒情報が発表されたり、危険を感じたら早めに避難してください。普段から、避難場所や避難の道順、お年寄りなどの早めの避難について、ご家族や近所と相談して決めておくことが重要です。

また、土砂災害の多くは木造1階で被災しています。豪雨などでどうしても避難所への避難が困難なときは、次善の策として、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難したり、それも難しい場合は家中でより安全な場所（例えば、がけから離れた部屋や2階など）に避難しましょう。

！こんな変化に注意（土砂災害の前兆現象）



【土石流】
地鳴りがする、土臭いにおい、流水の異常な濁り、溪流内で転石の音、流水の急激な濁り、流木発生、雨が降り続くにも関わらず川の水位が下がるなど



【地すべり】
地面にひび割れができる、わき水の枯渇や増加、井戸水が濁る、池や沼の水位の急変、家や擁壁などの傾き、樹木の傾き、地鳴り・山鳴りなど



【がけ崩れ】
表面に流水が発生、わき水が発生、わき水量の増加、わき水の濁り、わき水が止まる、わき水が噴き出す、斜面がふくらむ、小石がばらばら落下するなど

土砂災害に関するお問い合わせ先

- ・三好市役所総務部危機管理課
(電話 72・7625)
- ・三好市役所建設部工務課
(電話 72・7623)
- ・国土交通省四国山地砂防事務所
(電話 72・5400)
- ・西部総合県民局県土整備部(三好)
(電話 76・0625)

関係機関のホームページアドレス

- ・三好市 <http://www.city-miyoshi.jp/>
- ・徳島県 <http://www.pref.tokushima.jp/>
- ・雨量情報など <http://www1.road.pref.tokushima.jp/>
- ・徳島地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/tokushima/>



国際交流しませんか

オレゴン州ザ・ダルズ市への親善団員を募集します

平成27年度三好市姉妹都市交流親善団を派遣するにあたり、団員を募集します。

英語力は問いません。三好市国際交流協会が交流をサポートします。ホームステイを体験し、海外に友達をつくりましょう！

日程▼10月下旬ごろ～11月上旬の1週間程度
募集締切▼7月10日(金) 17時必着
※日程や事業内容が変わる可能性がありますので、ご理解の上、お申し込みください。

中学生団員
対象▼市内の中学2～3年生
定員▼12名以内
要件▼帰国後は体験報告を行

各種交流団員
対象▼三好市在住の高校生以上で、文化・教育・経済・学術・スポーツなどの目的に基づいて交流したい方。
定員▼若干名
要件▼帰国後は体験報告を行

一般団員
対象▼市在住の高校生以上
定員▼若干名
要件▼帰国後は姉妹都市交流の推進に努めること。
旅費▼約20万円(全額自己負担)

応募方法▼①住所②氏名③年齢④性別⑤電話番号を記入の上、ハガキまたはファックスでお申し込みください。
選考▼申し込み多数の場合は抽選となります。
注意事項▼過去の派遣経験の有無は問いません。

お申し込み・お問い合わせ先
〒778-8501
三好市池田町シンマチ1500番地2
三好市役所地域振興課
電話 72-7649
FAX 72-7202



姉妹都市交流

昨年の参加者の声

- 今回の経験を通して英語を話すことが好きになりました。素晴らしい体験ができてよかったです。(谷口日菜子さん)
- 英語が分からなくても、ジェスチャーを使って自分の気持ちを伝えられたときは本当にうれしかったです。(川上ひなたさん)
- 英語で話す楽しさ、相手に通じたときの喜びや達成感を味わうことができました。(森本敦也さん)
- 外から日本を見てみると普段は気づかないことを発見できました。(橋本萌香さん)
- みんな優しく、いっぱい話をしてくださったの友達ができました。(近藤千紗さん)